

# 第135回生涯教育研修セミナー

日時 2025年2月22日(土) 午後 3:00～6:00

方法 ハイブリッド形式 (zoom配信 / 現地: 明治記念館 東館2階 [孔雀の間])

※参加費無料、事前登録制 (お申込多数の場合は先着順となります。)

下記の URL または 2次元コードにて 2月16日(日) までに参加登録フォームにて参加登録をお願いいたします。

現地参加ご希望の場合も参加登録フォームからご登録ください。追って事務局より zoom 視聴用 URL をお送りいたします。

※現地参加ご希望の方にも、zoom 視聴用 URL をお送りいたします。

※登録後1週間以上経っても zoom 視聴用 URL が届かない場合は、恐れ入りますが以下事務局までご連絡ください。

※登録完了後に参加方法の変更を希望される方は、必ず事務局までご連絡ください。

[https://keio-univ.zoom.us/webinar/register/WN\\_q6FHVJpTRzWGYmb3JNgRMQ#/registration](https://keio-univ.zoom.us/webinar/register/WN_q6FHVJpTRzWGYmb3JNgRMQ#/registration)



参加対象

慶應義塾大学医学部、三四会、慶應医師会、慶應義塾大学関連・紹介病院、東京都地区医師会に所属する医師

取得単位

日本医師会生涯教育制度参加証交付 2単位 (取得カリキュラムコード: 0、9、10、73)

開会の辞  
挨拶

医学部長・慶應医学会長 金井 隆典  
三四会会長 武田 純三

テーマ

『がん診療の現在と未来予想図』

がん診療は目まぐるしく進歩しています。早期癌に対する内視鏡手術、ロボット支援腹腔鏡手術に代表される低侵襲手術は制癌効果だけでなく、患者の QOL の向上も達成しています。進行癌に対しても薬物治療の治療成績が向上しているだけでなく、副作用を適切に管理し、より長く快適な日常生活を送れるように配慮した治療を目指すようになりました。

進行癌においても根治を目指した治療を考慮することができるようになった背景には免疫チェックポイント阻害薬によるパラダイムシフトがあげられます。導入当初は有効例が限られていることと免疫関連有害事象の発現が話題になりました。現在ではより高い有効性を持つ、併用療法としての複合免疫療法が主流となりつつあります。

今回のセミナーでは婦人科がんと泌尿器がんを取り上げ、低侵襲手術と薬物治療が同時進行で進歩している現況を西尾先生と水野先生にご解説いただきます。良好な予後は長期にわたる高額な薬剤投与に繋がります。このジレンマなど医療全体を俯瞰した現状と将来展望を、医療経済の視点から後藤先生に解説していただきます。抗がん剤の国際治験に日本も参加するようになり、長年にわたる課題とされてきたドラッグ・ラグは解消されつつあると言っても過言ではないでしょう。大津先生にはこれまでのご自身の多大なるご貢献から、この先のがん診療はどのような方向に向かっているのか、あるいはどのような方向に向かうべきなのかを御講演いただきます。

モデレーター 慶應義塾大学医学部 泌尿器科学教室 教授 大家 基嗣

1. 『婦人科がん治療の最前線 ～がん免疫療法と手術治療の進歩～』

慶應義塾大学 産婦人科学教室 専任講師 西尾 浩

2. 『腎細胞がん治療の最前線 ～複合免疫療法と手術の進歩～』

聖マリアンナ医科大学 腎泌尿器外科学 教授 水野 隆一

3. 『がん治療の医療経済評価』

慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授 後藤 励

4. 『がん診療のこれまでとこれから』

国立がん研究センター東病院 名誉院長 / 一般社団法人がん医療創生機構 理事長 大津 敦

挨拶  
閉会の辞

エーザイ株式会社 代表執行役 CEO 内藤 晴夫  
生涯教育研修セミナー委員会委員長、慶應医師会会長 佐々木 淳一

136 回開催予定: 2025 年 6 月 21 日 (土) 開催

セミナー終了後、明治記念館にて、情報交換会を準備しておりますのでご臨席下さい。

【共 催】 慶應義塾大学医学部生涯教育研修セミナー委員会・慶應医師会  
慶應義塾大学医学部三四会・慶應医学会  
エーザイ株式会社

【連絡先】 〒160-8582 東京都新宿区信濃町35番地  
慶應義塾大学医学部総務課内 生涯教育研修セミナー事務局  
TEL.03-5363-3611(直通) E-mail: med-somu-3@adst.keio.ac.jp